

肉製品、乳製品製造業におけるその他の用具を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	12~13	養鶏場で、鶏の積み込み作業をしていた時、鶏が入っているカゴ6段が段差に引っかかり倒れてきて、支えようとしたが足がすべり、カゴと共に転倒し、腰を強打した。	46	50~99
2	12~13	3F作業場内において、商品を置く為のパレットを床に敷く時、パレットが手を滑らせて右足指の上に落下し右母指と第二趾末節骨骨折右足挫傷したものである。	63	—
3	17~18	加工場内で豚ウデ肉を整形作業中に、包丁がすべり左手親指を切創した。	50	100~299
5	11~12	当社工場内において、生鳥を処理するため保管していたが、気温が高かったため、死鳥防止の為に水をかけようとラック（高さ1.75m）の上に上がり作業をしていたところ誤って落下し、左側頭部を強打した。	21	30~49
6	17~18	ヨーグルト充填終了後、機械の洗浄作業をしている時、洗浄液を抜く為、2階の作業室から1階の調合室へ下りた際、階段の下にホースがあることに気づかずに踏んでしまい、右足を捻った。	40	50~99
6	9~10	小バラシ室のムネラインで製品の入ったカゴを、台車に載せようとした際に手が滑って、カゴを落として左足上に落下し、左足小指に亀裂骨折を負った。	66	100~299
6	9~10	工場内のパレット置場から、3段に重ねてあったパレットを取り出す際、誤って40cm程の高さから左足の上に落としてしまい負傷したものである。	63	100~299

7	6~7	当社工場内において、豚枝肉を吊しての解体作業中、誤ってナイフが滑り左前腕部に当たり負傷したものの。	35	30 ~ 49
7	10~11	豚の放血がきちんとできているかを確認するため、頭落とし作業をしている従業員の左側（次工程とのスペース）に立ち、頭落とし後の豚の胸を開いて確認しようとしたところ、被災者の右側で頭落としをしていた従業員のナイフが被災者の右腕に当たり切創した。	62	50 ~ 99
7	10~11	加工場内に於いて加工した肉をつかんだ際、下にナイフがあることに気づかず右手薬指第一関節を切った。	79	10 ~ 29
7	16~17	工場の冷凍庫内で肉（10kg）入りバット（入れ物）を目線高さに重ねてあったバットの上に載せようとしたらきちんと載せきれなくて持ち上げたバットが落ちてきた。そのバットを受け止めようとしたが、そのバットでバランスを崩し転んだ。その拍子にコンクリート床に右手を付いた。	65	10 ~ 29
7	10~11	冷蔵庫内においてクレートに入ったヨーグルトをパレットの上に積もうとした時、左足をパレットとパレットの間に挟んでしまい反動で右肩を積んであるクレートにぶつけ負傷した。当日はたいした事はないと思い医療機関にかからなかったが、後日痛みが酷くなり整骨院に行った。	59	30 ~ 49
7	14~15	精肉惣菜加工室前の通路にて、原料入りクレートを運搬中に扉ガードに躓き、バランスが崩れて倒れて来たクレートと壁の間に挟まれ、右手を負傷した。	49	100 ~ 299
9	10~11	第2工場加工室において、作業台の樹脂製のまな板（大きさ約横90センチ×縦180センチ、重さ約80kg）を使い、次に作業台を使おうとまな板を一人で動かしていたとき、誤って落としてしまい、左足を負傷した。	24	10 ~ 29
9	13~14	当社工場で作業中、使用後の籠を洗う準備をしていた（と思われる）、その際に、洗うためのお湯（60度に設定）をバルブからバケツに汲み、それを桶に移す際、誤って右長靴の中にお湯が入り負傷したものである。尚、本人は知的障害者で意思の疎通が難しい状況にあり、事故発生当時一人で作業をしていたため、作業の目	52	10 ~ 29

		的は不確かなままである。		
10	8～9	被災者は当社工場内に於いて豚ばら肉の整形中、豚肉を抑えていた左手親指第一関節に、ナイフ（刃渡り約20cm）が当たり負傷したものの。	46	10 ～ 29
10	16～ 17	工場1階加工室内にて作業終了後の清掃作業中に、ギャラクシーとミンチラインの隙間を通った際に、清掃中で床が水で濡れ滑りやすくなっており、又、接続配線コードに足が掛かり前向きに転倒した。転倒した際、右手、右肘を床についた為、右肩を脱臼し、その弾みで額を床に打ちつけて切傷した。	67	100 ～ 299
10	11～ 12	当工場ミンチ部作業場にて、他の作業員がハンドリフトにてパレットを作業場内に移動させていた。通常パレットを床面に下ろす時は声かけを行うが、今回は声かけと下ろす動作が同時であったため、原料パレットを下ろした際、近くで作業中の本人の右足薬指がパレットに挟まれた。	27	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html